

# 一般質問通告事項

令和7年6月17日  
第4回松江市議会定例会

順序	議員名	森脇勇人	(代表質問)	(一括方式)	質問日(予定)	6月23日
質問項目		質問要旨				
1	市長、市議会議員選挙の結果について	<p>(1) 市長の獲得票は前回より増加したが、その他候補の得票も増加している。また、市議会議員では多くの新人議員が立候補したにもかかわらず、投票率は8.1ポイント下落した。この4年間を評価した票、評価しなかった票とも伸びた結果となったが、市長の所見を伺う。</p> <p>(2) 投票に向けての広報活動はほとんどなかったように感じるが、今回投票率改善のためどのような施策を行ったのか伺う。また、参議院選挙に向けて何か取り組みがあれば伺う。</p> <p>(3) 投票率を上げるため期日前移動投票所や移動投票所の新設は不可欠であり、早急に取り組むべきと考えるが市長の所見を伺う。</p>				
2	市長の2期目に向けた市政運営、議会との関わりについて	<p>(1) 1期目の市政運営は議会調整があまり行われず、議会に相談する前に記者会見などで方針を打ち出し、既成事実にしていくやり方だったと思うが、議会も1期、2期の議員が19人と、三分の二を占める大変若い議員の構成となった。今後さらなる丁寧な対応が必要と考えるが所見を伺う。</p>				
3	ガス局民営化について	<p>(1) 事業譲渡に関する基本協定書、松江市ガス事業譲渡に関する契約書は新しい議長・副議長、議会委員会構成も決まった所で速やかに議会に報告し、それから結ぶべきではなかったか。委員会での答弁とは違うやり方である。先般の全員協議会でも質疑したが改めて伺う。</p> <p>(2) 多くの議員の質疑、発言を受けての選定委員会での判断はどうだったのか、契約書に盛り込まれているのか伺う。</p> <p>(3) 製造、配送、検針などすべて委託に出しているにもかかわらず契約は一括譲渡という方針となっているがそういった懸念は選定委員会ではどのような議論がなされたのか伺う。</p> <p>(4) ガス局の譲渡価格の設定が23億円からとなった理由、今回の37億円は、資産価値、今後の事業価値今後の利益を計算すればもっと高い金額は、つかなかったのかという思いもあるが、選定委員会での考え方はどうだったのか、また、報告を受けどう感じたのか伺う。</p>				
4	観光戦略と都市間交流について(仙台、静岡、大阪・関西万博からの誘客)	<p>(1) 現在全国の多くの自治体で都市間交流が取り組まれているが、その中で7割以上の自治体が「必要」として今後も「充実させたい」との意向が強く見受けられる。昨年11月には仙台側の働きかけでJAL直行便が就航し議会も交流を深めたところである。市内の民間の皆様の尽力により廃止になったFDAの仙台路線の復活に向けて仙台市や仙台市議会の皆さんと交流が始まり相互理解が深まっている。私も5月にJALの臨時便で仙台市に伺い、まずはお互いの市同士で定期的な交流が出来ないのか民間の皆様と意見交換を行った。また、静岡市は松江と同じお茶所であり松江が誇るお菓子の文化もあり、しっかりとした都市間交流が行われればと感じている。そこで何点か伺う。</p> <p>ア 松江市では3市1町と姉妹都市提携が行われているが現在の交流の取り組みと成果を伺う。</p>				

# 一般質問通告事項

令和7年6月17日  
第4回松江市議会定例会

順序	1	議員名	森脇勇人	(代表質問)	(一括方式)	質問日(予定)	6月23日
質問項目		質問要旨					
5	伯備新幹線、境港出雲道路について	<p>イ 仙台市の人口は109万人、周辺を合わせれば約150万人の人口を擁し、静岡市は67万人、周辺を含めれば約100万人以上の人口を擁し、両市とも松江市の数倍の人口を誇る町でありFDAやJALの臨時便などでの交流が行われれば観光、経済とも松江市には大きなメリットがある。FDAが就航して数年経過しているが空港利用促進と就航先との都市間交流をどのように進めようとしているのか、何もしてこなかった反省と今後の取り組みについて伺う。</p> <p>ウ 大阪便による大阪・関西万博からの誘客も必要だが松江市は観光戦略をどの様に立てているのか伺う。</p> <p>エ 松江市で外国人をあまり見ない、ここ数年観光客も少ないように感じるが、松江城、堀川遊覧、水郷祭、武者行列、水燈路、どう行列と、地域振興を兼ねた観光施策となっていると思うが、インバウンド観光や県外からの誘客など、成果と今後の対策を伺う。</p> <p>(1) 新幹線整備は地域の思いが無ければ進まない。次期整備計画に乗せるため、諦めることなく地道な活動が必要だが市長の活動4年間の総括と今後の活動に向けての方針を伺う。</p> <p>(2) 境港出雲道路は圏域60万人の将来の大動脈となる道路であり、松江市では県事業として松江北道路の建設が進められている。現在、国直轄事業での要望活動が行われている。一部の地元国会議員は積極的ではない様だが、今後の活動とあわせて現在の活動の進捗状況を伺う。</p>					
6	ラムサール条約20周年について	<p>(1) ラムサール条約では、湿地を保全するだけでなく、湿地の恵みをうまく利用していこうと考えている。そういった考え方を、条約ではワイズユース(賢明な利用)と表現されている。宍道湖・中海では、すでに様々なワイズユース(賢明な利用)の取組が行われていると、島根県のホームページにはあるが何点か伺う。</p> <p>ア 宍道湖、中海についてはどのような賢明な利用がされているのか伺う。</p> <p>イ 弓浜干拓地、彦名干拓地を干拓するのに多くの中海海底の土砂が使われた。そのことの影響でいまだに中海ではくぼみがあり、貧酸素水塊の影響が漁業に出ている。松江市の考えを伺う。</p> <p>ウ 本庄工区には未だに過去の干拓事業における道路が海中に放置されている。そのため水の通りが悪く漁業に適していない。過去に万原承水路を県の工事と共に一部開削してはとの意見もあったが島根県では行われなかった。海中の道路など干拓事業の後始末は島根県が行うべきだが、水質改善のために、承水路の開削などは松江市としても社会資本整備総合交付金を使ってでも行うべきと考えるが所見を伺う。</p> <p>エ ラムサール条約20周年を迎え、この間の総括を伺う。</p>					

# 一般質問通告事項

令和7年6月17日  
第4回松江市議会定例会

順序	1	議員名	森脇勇人	(代表質問)	(一括方式)	質問日(予定)	6月23日
質問項目		質問要旨					
7	都市計画と中心市街地開発事業について	<p>(1) 現在松江市では「線引き」制度廃止へ、2026年度めどに新制度移行ということで進められているが、松江圏都市計画区域にある安来市は、先般、線引き維持の方針を打ち出された。都市計画法でなくとも農地法で一種農地は開発行為が民間、個人では出来ない為、優良農地の保全是問題ないが、今回安来市はどのような懸念により維持の方針を打ち出されたのか伺う。また安来市の判断により松江市の計画への影響はどのようになるのか伺う。</p> <p>(2) 駅前再開発などの松江駅前デザイン会議、県立プール跡地一帯の整備活用について話し合う検討会議などが開かれ検討されているが、こういった構想を計画にし、事業着手まではどのような年数と費用をかけようとしているのか伺う。また、国は多くの地方都市から同じような開発申請があり、大変国の都市局の予算を取るのも難しくなっていると聞かぬが松江市ではどのように把握されているのか伺う。</p>					
8	宿泊税について	<p>(1) 宿泊事業者からは当然自分たちの地域に観光推進のための予算枠を付けていただきたいという意見や、観光DMOをしっかりと構成し、そこに予算を付けてDMO主体で事業を行うべきとの意見も伺っている。市長は国際文化観光都市の魅力増進につながる施策に使いたいとの答弁もあったが、改めてこの税を今後どのように利用していきたいのか伺う。</p> <p>(2) 宿泊税については今年12月から徴収するよう計画も立てられているが、今年度の徴収税額をどのくらい見込んでおり、今年度はどのような事業費として使うのか伺う。</p> <p>(3) 今の観光施策では、宿泊事業者の皆さんからは「このままでは松江は出雲に追い越されるばかりか、この先観光で若い人たちが、飯が食えなくなる。」とまで危惧されている。事業者の皆様から市長自らしっかりとお話を伺い、納得するような事業への展開が図られるべきと感じるがご所見を伺う。</p>					

# 一般質問通告事項

令和7年6月17日  
第4回松江市議会定例会

順序	議員名	川島光雅	(代表質問)	(一括方式)	質問日(予定)	6月23日
質問項目		質問要旨				
1	市長の市政運営の現状と課題について	<p>(1) 選挙戦を通じて、隈なく松江市の隅々まで回られたと思うが、市内の空洞化に伴い市街地の周囲へとまちが広がっていく姿や、周辺の旧町村の過疎が進んでいる地域に対して、どのような感想を持たれたのかお聞きする。誇れるまち、賑わいのあるまち、安心して住みよいまちは市長の想いと共に市民と共有されねばならない。2点について所見を伺う。</p> <p>ア 選挙戦を通じて、今後の松江市に対する期待する声や、特に半島地域や中心市街地から離れた地域や中山間地などでは、市長に対する期待は強かったと思うが、その中で地域住民の要望や特筆するような地域の魅力や可能性を感じることがあったならば伺う。また今後はそのような地域にどのように関わっていくのか、所見を伺う。</p> <p>イ 人口減少対策においては危機感を持っていると、その中で人口減少解消先進市にしたいと選挙戦でも訴えていた。少子高齢化の中で、人口減少問題は全国的な課題でもあるが、市長が述べる先進地への挑戦とは何か伺う。また、人口は減っているが、世帯戸数が増えている地域も見受けられる。核家族化もあるが、ある観点からその地域は住みやすいからそこに移住していることも、否定できないと思う。そういう地域に居住だけでなく、雇用の場や利便性の高い商業施設、生活環境施設が立地することによって人口も増えると思えるが、市長の所見を伺う。</p>				
2	選挙の市民の投票行動について	<p>(1) 今回の選挙での投票率は前回よりも約8%下げて52.12%となった。投票率を見ると約半数の方が投票に行っていたということになるが、このように下がると、主権者たる市民の市政に対する関心が薄れているのではないかと危惧する。まちづくりは市長が求める「公民連携」にも影響があると思う。その要因について以下伺う。</p> <p>ア 選挙ポスターの掲示板が大幅に減っている。掲示板数462カ所でその経費が約3,955万円、選挙公報の配布については配布部数が約7万7,700部でその経費が約318万円となっている。掲示板については前回に比べて枚数が109カ所減って、選挙公報部数については約2,668部増えている。市政に参画する最も大切な市長・市議会選挙であると思うが、前回選挙に比べて費用が削減になっている。費用対効果をどのようにみているのか伺う。</p> <p>イ 選挙公報の配布方法が、自治会を通しての配布から新聞折込みやポストインに変更された。選挙公報の配布枚数は増えたのだが、あまり効果は現れず、適切な方法ではなかったのではないかと思う。また、選挙ポスターの掲示板での広報活動に対しては掲示板が前回よりも約100カ所を超えるほど削減されている。これら広報活動にかかった費用と枚数や掲示板数について伺うと共に反省点や改善点があれば伺う。</p> <p>ウ 投票率を上げる方法について、「松江城周辺の回遊性を高めるキャンペーン」で観光客の回遊性を高めるために、何カ所か回るように割引制度を計画している。以前、京都に住んでいた時に、若い世代の投票率を高めるために、投票後の投票券の半券を持っていけば、コンビニで買い物が割引になるようなキャンペーンを行っていた。投票率を高める対策をとる必要があると思われるが、市長の考えを伺う。</p>				

# 一般質問通告事項

令和7年6月17日  
第4回松江市議会定例会

順序	議員名	川島光雅	(代表質問)	(一括方式)	質問日(予定)	6月23日
質問項目		質問要旨				
3	土地利用制度の見直しについて	<p>(1) 土地利用制度の見直しを掲げて取組んでいる。私たちは、都市の生活インフラの維持や行政サービス負担を考えたくえコンパクトシティを維持しながら、ある程度の土地利用緩和制度を容認してきている。市長は、土地利用制度を改め、線引き制度の廃止を考えて活動をしているが、次の2点について伺う。</p> <p>ア 制度を市民に理解してもらうために、各公民館区での土地利用制度の見直しについての説明会を開催されているが、現状での状況と進捗について伺う。</p> <p>イ 2027年度を目途に見直しを進めたいとしているが、「松江圏都市計画区域」に旧安来市が入っている。その安来市においては、先般の6月2日の安来市議会において、線引き制度を存続させる方針を承認している。松江圏都市計画区域には安来市が入っているが、今後の方向付けにどのような影響があるのか伺う。</p>				
4	コメ対策と物価高騰対策について	<p>(1) 物価高騰の中で、厳しい事業活動や生活を強いられている事業者や市民にとって、日常生活に主食としているコメ価格高騰とコメの不足問題が生じている。コメの需給体制のバランスが崩れ、コメの不作に加えて、供給の不安定化のなかで、需要への対応遅れによるコメ不足が起きている。松江市においても、学校給食にも影響が出て、今年度の2月議会での令和7年度当初予算でも保護者への負担軽減として学校給食への助成を実施した。これらの問題はコメの減反政策による生産調整や農業従事者の労働力不足から生じたもので、根本的なコメ政策の見直しが求められる。</p> <p>ア 学校給食や保育所等での給食の提供についてはコメ対策に併せて、副食になる副菜の高騰も気になる。現状を伺う。また今回も補正予算が計上されている。今後の対策と支援策をどのように考えているのか伺う。</p> <p>イ コメ対策は農業対策に直結するものである。今後の特に小規模・中規模の農業政策の振興方針を伺う。また、飼料用米から主食用米に転換する農家が増えれば、畜産農家は更に高い飼料を購入しなければならない。中期的な政策の中でとらえないと、必ずどこかでひずみが出てくると思われるが、農業政策は大きな転換期に向かっていると思われる。その中で松江市の農業振興をどのように支えていくのか所見を伺う。</p> <p>ウ 物価高騰によるコスト転嫁ができない業種の中で、公定価格で報酬が決まる、医療や介護などのサービスは、診療報酬や介護報酬で運営している。人手不足に加えて、事業の維持運営が物価高騰で苦しい経営を余儀なくされている。これらの運営に対しても支援が必要と思う。また、市立病院事業においては、令和7年度当初予算では収益的収支が人件費や材料費の高騰で、収支損失の約3億1千万円を予算化しているが、今後、更に損失額は膨れる可能性がある。その対処を伺う。</p>				
5	松江市の財政力について	<p>(1) 松江市の財政力指数は合併後あまり大きく振れることなく56%前後で推移しているが、出雲市は合併後は松江市よりも低く46%だったのが斐川町と合併した平成23年から少しずつ上昇し、56%までに上昇している。大手企業の進出を受け入れ促進した斐川町の影響は大きいと思われる。松江市においても、自前の自主財源を増やし財政力を上げることが大切と思うが市長の所見を伺う。</p>				

# 一般質問通告事項

令和7年6月17日  
第4回松江市議会定例会

順序	議員名	川島光雅	(代表質問)	(一括方式)	質問日(予定)	6月23日
質問項目		質問要旨				
6	ガス局の民間譲渡について	<p>(1) ガス局の民間譲渡に関しては、平成17年に「松江市ガス事業経営検討委員会」設置がなされ、ガス事業を取り巻く状況などを踏まえ、平成18年に「本市ガス事業の民営化に向けた時期・手法・財務のあり方について」の検討委員会答申書が提出されてから、水面下でも、ガス局職員組合や同業ガス事業者の間で、様々なやり取りがあったようである。</p> <p>その後、松浦正敬前松江市長が民間譲渡方針を示すも、進展が見られなかった。今回は上定市長の再提案で令和5年8月に「松江市ガス事業民営化基本方針」を公表し、9月議会において「松江市ガス事業譲渡先選定委員会条例」が提出された。本議案は11月議会まで審議が持ち越され可決をされた。それにより、可決された選定委員会によりプロポーザル方式で譲渡先予定者を決定したと理解しているが、先般、今回の決定に対して譲渡を実施しないよう要望が、地元関係団体や競合する懸念がある業種の有志から市長へ、また議長・議員へも来ている。要望を出している団体は市民でもあり地域経済を支えていただいている事業者でもある。丁寧に納得のいくような説明が必要と思う。次の2点の要望について市長の見解を伺う。</p> <p>ア LPガス協会松江支部と安来支部では、契約者が県外業者で資本力のある大手企業であり、今後地元ガス事業者が事業縮小や廃業に陥るだけでなく、さまざまな業種の地元企業にも同様な影響を懸念する意見要望について伺う。</p> <p>イ 小売り酒販業、米穀販売業、石油製品販売業などの事業者有志からは譲渡先の事業者はガス事業だけでなくその他の取扱い事業も幅広く展開しているので、事業進出するとの予想理由から譲渡を実施しないようにとの要望について伺う。</p>				
7	地域の土木要望の対処について	<p>(1) 毎年度、地区要望が出されるが、これは地域住民にとっては切実な問題である。対応には、土木要望、交通安全施設要望、教育委員会所管の通学路安全プログラムに基づく通学路危険箇所等票等の提出などが地域から出てくるがその実態と対応及び対処率を伺うと共に、予算処置を増額して取り組むことを求めるが、市長の所見を伺う。</p>				

# 一般質問通告事項

令和7年6月17日  
第4回松江市議会定例会

順序	議員名	津森良治	(代表質問)	(一括方式)	質問日(予定)	6月23日
質問項目		質問要旨				
1	市長の所信表明について	<p>(1) 本市は人権施策の普及・啓発にどのように取り組んでいかれるのか、そのお考えを伺う。</p> <p>(2) どのような組織を立ち上げて見直しを行っていくのか、また、市民の皆様とともに進めようとされる町内会・自治会、公民館を地域コミュニティの核とする時代に即した地域づくりとは、どのようなもので、いつから進めていかれるお考えなのか伺う。</p>				
2	令和のコメ騒動、本市の人と農地の将来方針について	<p>(1) 「令和のコメ騒動」への認識と、適正なコメの価格についての見解を伺う。</p> <p>(2) 本市が策定した「地域計画」によって見えてきた10年後の地域農業の将来像はどのような姿であったか、食料安全保障を支える農地を守っていく為に、どのような取り組みをなされていくのか伺う。</p>				
3	投票率の向上と投票環境の整備に向けて	<p>(1) 今回の選挙における投票率について、選挙管理委員会は、どのように受け止められておられるのか、今後、投票率の向上に向けて、どのような取り組みをなされるのか、そのお考えを伺う。</p> <p>(2) 選挙管理委員会で行われる予定であった高校での期日前投票所の設置について、その結果はどうであったのか伺う。</p> <p>(3) 教育長の主権者教育への思いや、今後の取り組みについてのお考えを伺う。</p> <p>(4) 高校生による政策の模擬投票や、大学生による模擬投票が小学校でも実施された。政治に関心を持っていただく為の取り組みについて市長の所見を伺う。</p> <p>(5) 本市における要介護度別、障害支援区分別の投票率について調査を行っていただきたい。こうした方々の投票率を可視化することは、大切な権利の保障にもつながり、投票行動への困難さの度合いや、阻害要因も見えて、投票環境の改善、壁の解消へとつながっていくものと思うが、所見を伺う。</p>				

# 一般質問通告事項

令和7年6月17日  
第4回松江市議会定例会

順序	議員名	太田哲	(代表質問)	(一括方式)	質問日(予定)	6月23日
質問項目		質問要旨				
1	物価高騰対策について	<p>(1) 米価格高騰、米不足に対して松江市の米に関する農業政策及び担い手不足について現状と今後の政策を伺う。</p> <p>(2) 松江市として追加の重点支援地方交付金はいくらになるのか伺う。</p> <p>(3) 市民に対して追加の物価高騰対策を考えているのか伺う。</p>				
2	松江市内のまちづくりについて	<p>(1) JR松江駅前再開発について</p> <p>ア JR松江駅前再開発はどのようなスケジュールで進めるのか伺う。</p> <p>イ 再開発のプロジェクトチーム等を組んで行われるのか伺う。</p> <p>ウ 4年後はどのようなイメージを描いておられるのか伺う。</p> <p>(2) 県立プール跡地について</p> <p>ア 改修工事に合わせて駐車場のスペース等どのように考えているのか伺う。</p> <p>イ 県立プール跡地は現在どのように活用されているのか伺う。</p> <p>ウ 総合体育館周辺エリア未来ビジョンに基づく整備計画について伺う。</p> <p>エ 4年後はどんなイメージを描いておられるのか伺う。</p> <p>(3) ホテル穴道湖跡地について</p> <p>ア 現在の活用状況と今後のスケジュールを伺う。</p>				
3	観光振興について	<p>(1) 松江城周辺の回遊性を高めるキャンペーンを予定されているが具体的に伺う。</p> <p>(2) シェアサイクル導入時の駐輪場の確保や現在ツーリングで松江城周辺の観光地に来られた方の駐輪場はどのように考えているのか伺う。</p> <p>(3) 小泉八雲記念館及び小泉八雲旧居について混雑緩和、快適な観覧環境のために、予約システムなど導入支援の予算を立てている。こういった予約システムなのか伺う。</p> <p>(4) 今年の水燈路は塩見縄手周辺の夜間のイベントを行わない理由を伺う。各種施設も夜間は開けないのか伺う。</p>				
4	空き家対策について	<p>(1) これまで住宅政策課で空き家対策を行われており空き家バンクや空家対策係を設け対応されていた。どのように変わるのか伺う。</p> <p>(2) 現在、松江市には水道が止まっているなど住んでいない空き家はどれくらいあるのか伺う。</p>				

# 一般質問通告事項

令和7年6月17日  
第4回松江市議会定例会

順序	議員名	太田哲	(代表質問)	(一括方式)	質問日(予定)	6月23日
質問項目		質問要旨				
5	松江市ガス局の民間譲渡について	<p>(3) 7月1日より島根県建築住宅センターで空き家専用の相談窓口を開設されるが、こういった体制で行われるのか伺う。</p> <p>(1) 上定市長は要望書を提出された島根県LPガス協会松江支部および安来支部と話し合いをされたのか、また要望に対してどのように対応をされるのか伺う。</p> <p>(2) ガス業者以外にも松江市の石油、米穀、酒類販売業者有志の方から同趣旨の要望書が提出されている。各団体と話し合いをされたのか、また要望に対してどのように対応をされるのか伺う。</p> <p>(3) 譲渡先業者にガス以外の地元団体からの声を伝えたのか伺う。</p>				

# 一般質問通告事項

令和7年6月17日  
第4回松江市議会定例会

順序	議員名	たちばなふみ	(代表質問)	(一括方式)	質問日(予定)	6月23日
質問項目		質問要旨				
1	市民の暮らし支える松江市へ	<p>(1) コメ問題の解決は 昨年から続くコメ不足や備蓄米の活用が円滑に行われなかったことなどの根本原因は、国の農業政策にある。農家に減反を強いる一方で所得補償をしないことが、人手不足や後継者不足を呼び、耕作放棄地が増え、農地の保全もできない、農家が減少することになってしまった。国は農家に対しては所得補償をし、再生産できる環境を整えること、農作物の価格特にコメの価格保証として適切な調整を行うことが必要。農業を支える政治に大きく転換することが求められている。</p> <p>ア 市として松江市の農業をどう支えていくのか、そして国に対して農家に対する所得補償制度導入を求める必要があると考えるがどうか。</p> <p>(2) 水道料金の値上げゆるされない 松江市は、選挙後早々に水道料金の値上げ方針が松江市公共料金に関する審議会で認められたと発表した。一般家庭の値上げ率は発表された平均26.02%を大きく上回る36.05%となっている。松江市は市民生活を支援するとして水道料金を1年の内2か月分減免する政策を行ってきた。こういった支援は全国に広がり東京では今年夏の間基本料金を無料にすることになった。</p> <p>ア 物価高騰に市民生活がおいつめられている今、市民生活をさらに圧迫するような料金値上げ等を行うべきではないと考えるがどうか。</p> <p>イ 一般財源を投入し、値上げをしない、または引き下げを検討するべきと考えるがどうか。</p> <p>ウ 県に対し、高騰する受水費の減額を求めるべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 就学援助制度のさらなる周知を 私たちは、お金の心配なく学べる社会をめざし義務教育の無償化を実現したいと考え、まずは今ある就学援助制度の拡充を求めてきた。「島根県子どもの生活に関する実態調査」によれば「生活困難」とする家庭が大幅に増えているが、困窮世帯でもこの制度を半数以上が活用しておらず、その理由として「制度を知らなかった」「申請の仕方がわからなかった」という回答が多数を占めた。</p> <p>ア 現在の支援の状況はどのようか。</p> <p>イ 支援を必要とする全ての家庭にいきわたるよう、全家庭から申込を受けるといった方法をとってはいかがか。県立高校では支援金制度の申し込みを全家庭がするという対応をした。全ての家庭が申請書を提出すれば、支援が受けられるのに申請せず取り残されることがなくなり、就学援助制度が必要な方に行き渡るのではないか。お金の心配なく学べるよう周知の工夫をさらに求めるがどうか。</p> <p>(4) 全国で学校給食費の保護者負担を無償にする自治体が3割を超えた。松江市は、物価高騰の中、令和5年度2学期から給食費の値上げを行った。保護者負担の激変緩和として値上げ分の半額を支援してきたが、今年4月からそれを終了し、再び保護者負担が増加した。</p> <p>ア 値上げ相当分の補助を行い、給食費無償化を子ども3人目の家庭からスタートするなど、一般財源の活用をさらに広げることを求めるがいかか。</p>				

# 一般質問通告事項

令和7年6月17日  
第4回松江市議会定例会

順序	議員名	代表質問	(一括方式)	質問日(予定)	6月23日
質問項目	質問要旨				
2	ジェンダー平等の 松江市へ	<p>(5) オムツの無償配布を 「オムツが高くて十分買えない」「パンパンになるまでかえない」「ミルクを薄めて使っている」このような子育て世帯の実態が報道された。1歳まで無料でオムツを配る「オムツ定期便」という取組が滋賀県東近江市などで始まり、兵庫県明石市はじめ全国に広がりつつある。この取組は赤ちゃん訪問として配達員が手渡しすることで保育所入所の相談や虐待のおそれ早期につかむなど産後ケアの充実にもつながっているといい、松江市でも望む声が根強くある。</p> <p>ア 赤ちゃん訪問や健診時に、無料の防災備蓄品を活用し、オムツ無料配布を開始することを求めるがどうか。</p>			
3	こどもの権利尊重 する学校づくりを	<p>(1) 世界経済フォーラムが、2025年版ジェンダーギャップ報告を発表し、日本は昨年同様118位だった。女性の管理職が少ないことや格差解消のペースが平均を下回り、先進7カ国でも引き続き最下位とのこと。松江市はこの4年間、SDGs未来都市も取得しジェンダー平等の松江市へ努力してきた。</p> <p>ア 松江市のジェンダー平等の職場づくりの目標について伺う。</p> <p>イ 女性の管理職の割合について現状と課題を伺う。</p> <p>ウ 男性の育休取得について現在の目標や取得率、また取得のための課題を伺う。</p> <p>(2) 女性だけに負担のある生理用品がトイレットペーパーと同様トイレに常備されることが、全国でも世界でもジェンダー平等に向けて象徴的な施策となっている。松江市では全ての市立学校のトイレに生理用品を配置することになった。</p> <p>ア 今後も子どもたちの要望を聞き、配置箇所を増やすなど拡充を求める。併せて公共施設のトイレへの生理用品配置を引き続き、設置施設を増やすなど、市独自の持続的な取組の構築を求めるが見解を伺う。</p>			
		<p>(1) 年々学校に行きづらい子どもが増えている中で、日本共産党は今般5月23日に不登校についての提言を発表した。子どもの生きる権利を基本に、行きたくない学校づくりと、行けば具合の悪くなる学校は休む権利があるということをお願い、子どもの権利を尊重し「こどもも保護者も安心できる支援」「こどもを人間として大切にする学校」を求めるもの。教員不足の解消、先生の多忙解消や学校で働く職員を大切にすることが必要。</p> <p>ア 県の発表によると4月1日時点で教員の欠員は過去最多64人。教員不足を補う支援員など、配置状況はいかがか。</p> <p>イ 全ての学校に校内教育支援センターをつくること、橋北にしかなかった教育支援センターが橋南にも検討されるときいている。設置状況、各学校やセンターでの支援員の配置の状況について伺う。</p>			

# 一般質問通告事項

令和7年6月17日  
第4回松江市議会定例会

順序	議員名	代表質問	(一括方式)	質問日(予定)	6月23日
質問項目		質問要旨			
4	歳を重ねるほど楽しい松江、高齢者福祉について	<p>ウ ①スクールソーシャルワーカーは国の基準で中学校区に一人を目指すとしている。松江市では中学校区への配置が7人、それ以外の学校に派遣する派遣型の方が4名ときく。校区型の配置がない中学校区での活用状況、今後の配置の方向性について伺う。②困難を抱える子どもが増える中で保護者対応が教員の負担になっている。この10年で子どもの不登校は3倍、精神疾患で休業した教員は20年で6倍に急増した。スクールソーシャルワーカーは困難を抱える教員の相談も受け解決につなげる専門家でもある。教員の離職を防ぐためにも、早急に体制を整えることが求められると考えるが見解を伺う。</p> <p>(1) 加齢性難聴への補聴器購入助成について、補聴器の活用で認知症の予防になること、高齢者の質の高い生活のために補聴器が有効だと示されている。日本補聴器販売店協会の調査では4月時点で補聴器助成の実施自治体は約400に拡大している。松江市は総合計画で2030年の市民の実感に「歳を重ねるほど松江は楽しい」を目標にしている。団塊の世代が後期高齢者となり、健康寿命を長くし、楽しい松江になるよう、加齢性難聴への補聴器購入助成はまったなしである。</p> <p>ア 独自の助成を行うべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 歳を重ねるほど楽しい松江には、高齢者の外出支援がかかせない。自由に外出し、地域の方と交流したり、行事に参加することが大切である。</p> <p>ア 高齢者の外出支援、タクシーの補助の利用状況はいかがか。</p> <p>イ 市営バスが昼間の便を減らし、一畑バスが路線廃止を行う中、コミュニティバス、AIデマンドバスのさらなる拡充と利用料金の減免が必要だと考えるがどうか。</p> <p>ウ 交通は人権である。高齢者や障がい者のタクシー利用補助の条件を緩和し、誰もが安心して買い物も通院もできる松江市にしていくことが必要だと考えるが見解を伺う。</p>			
5	島根原発はストップを	<p>(1) 島根原発2号機が再稼働して半年になる。中国電力は、5月21日に島根原発2号機の40年までの長期施設管理計画が認可されたと発表した。今2号機は稼働して37年目、制御室建物は51年目、サイトバンカ建物は40年目、補助ボイラー室は38年が経過、そのコンクリート構造の強度や劣化具合は来年度点検するとされている。点検をまたずに稼働していることをどうとらえているか伺う。</p> <p>(2) 益田市で核のゴミ最終処分場をめぐる問題が大きく動いた。文献調査を受け入れるべきという動きに対し、県知事、市長が反対を鮮明にし、益田市の経済界の有志グループは市議会への請願提出を断念した。核のゴミの最終処分場の問題は全く未解決であり、県内県外に限らずこの市民も受け入れたくないものであることが改めて明らかになった。今島根原発が稼働し、住民に受け入れられない「核のゴミ」を、最終処分場がなく処分の見込みがないのに生み出している現状についてどう考えているか見解を伺う。</p>			

# 一般質問通告事項

令和7年6月17日  
第4回松江市議会定例会

順序	5	議員名	たちばなふみ	(代表質問)	(一括方式)	質問日(予定)	6月23日
質問項目	質問要旨						
	<p>(3) 原発災害時に医療現場が診療を継続できるか、松江赤十字病院がBCP策定の全国モデルとなることが6月8日に報道された。現場は職員も被災者になるため、参集にも難しさがあるとしている。看護師不足が深刻化しており、松江市でも市立病院で90床を閉鎖した。医療・介護の現場で日常的に職員が不足している中、災害対応が適切にできるような状況ではないと考えるが見解を伺う。</p> <p>(4) 原子力災害時の避難計画にも多くの市民が不安をもっている。原発から30キロ圏内の市民は事故から7日以内に決められた避難先へ自家用車やバスなどで広域避難することになっている。県内でバスが不足すれば隣県のバス事業者から調達する協定を結んでいる。同様の計画をたてている新潟県の柏崎刈羽原発で住民避難用に稼働できるバスの台数がバス会社の保有するバスの内1割程度、「運転手が被ばくする危険性」を懸念する声が12社から上がるという調査結果が発表された。被ばくする可能性のある地域へ大量のバスを送り何往復もして全住民を避難させるというこの広域避難計画が非現実的であることが浮き彫りになったと考えるがどうか。</p> <p>(5) 核のゴミの問題、緊急時対応の問題、どれをとっても、市民の生命、財産を守るためには原発を動かすべきではないし、止めることが必要だと考える。市長の見解を伺う。</p>						